

LV-1.0 FPGA Writer 暫定版

2011年1月10日

LV-1.0のFPGA書き込み機能は、PCコントロール・アプリケーションの一部として公開する予定です。

しかし、PCコントロール・アプリケーションの開発が遅れているため、単体のアプリケーションとして動作する形で暫定的に公開いたします。

1. ダウンロードとインストール

ホームページから必要な.zipファイルをダウンロードして適当なディレクトリに展開して下さい。

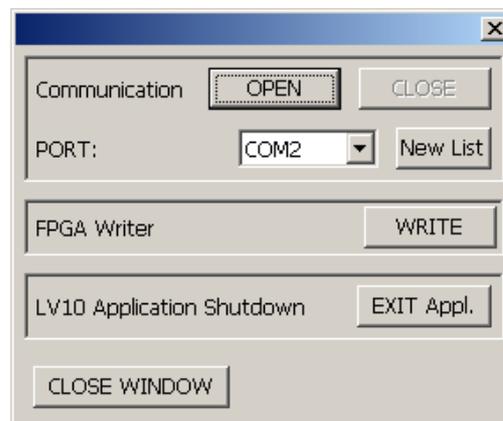
アプリケーションのインストールは特に必要ありませんが、LPC1343の仮想通信ポートはドライバのインストールが必要です。添付の.infファイルでインストールしておいて下さい。

2. 使用方法

展開されたファイルから、LV10.exeファイルをダブルクリックして起動します。
スタートアップ画面として、次の画面が表示されます。
この画面上で、マウスの左ボタンをクリックして下さい。



操作画面が表示されます。



} 通信ポートの設定

} FPGA書き込み

} ツールの終了

2.1 通信ポートの接続

システム・マイコンの LPC1343 とは仮想コミュニケーション・ポートで接続しています。
LPC1343 を接続した後、適切な通信ポートを選択して【OPEN】して下さい。
通信ポートの一覧は、【New List】をクリックすると更新することができます。

2.2 書き込み

【WRITE】ボタンをクリックするとファイル選択したとで、書き込み動作を開始します。
ファイル選択画面が表示されたら、FPGA に書き込み.mcs ファイルを選択して下さい。
ファイルを選択すると自動的に書き込みを開始します。

システム・マイコンには次のような表示を行い、書き込みの進捗を示します。
下部の四角形を内側まで塗りつぶすと、書き込みは終了です。

キットに含まれる電源を使用している場合は、電源断・再投入して FPGA 基板を再起動し、定常状態に復帰します。

